

令和元年度(2019年度) 県立歴史館の活動計画(目標)

基本目標	基本目標に対する取組	令和元年度		平成30年度 主な事業及び達成値	備考
		主な事業	目標値		
長野県民の歴史遺産を子孫に継承するための取組をします	埋蔵文化財、文献史料・歴史資料等を収集し、調査研究を行います	○ R2年度企画展の資料調査	<ul style="list-style-type: none"> 企画展「醸造展」「弥生展」「中村不折展」(仮称)の基本構想の作成 上記企画展の資料調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 25周年記念特別企画「土偶展」の資料調査うち、「国宝土偶」は、借用交渉、調査終了。「中部高地の土偶」についてはH31年度に継続達成 値60% 	
		○ R1年度巡回展「長野県の考古学」、R2年度巡回展「長野県の考古学」の資料調査、共催機関とテーマや広報等の打合せ(5回程度)	<ul style="list-style-type: none"> 各連携機関と企画・テーマをすりあわせ、広報等を充実、打合せは各連携機関とも年5回程度実施 巡回展の開催館については、国宝土偶展があるため歴史館での開催及び2他館での開催 1ヶ月で来館者約1,000人 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村教育委員会、埋蔵文化財センターと共同調査を進めるとともに、テーマ展示を「弥生時代」とし、学史的に貴重な資料と最新の資料を展示。各館にて地域展示を実施R1年度開催予定の後期土偶展に関する下準備 歴史館 3月17日～6月3日(56日間:8,485人) 南信会場 7月13日～8月2日(24日間:492人) 中信会場 8月11日～9月17日(34日間:1,406人) 東信会場 9月29日～11月25日(50日間:1,455人) 満足度80% 	
		○ 文献史料の収集・整理・保存	<ul style="list-style-type: none"> 行政文書、県報、行政資料 新規収集資料(年間約数百冊)の選別・収集・整理 県報、行政資料の公開(年間約300冊) 公開・非公開判定、金属除去など整備整理 未整理行政文書の整理 古文書 新規史料の収集(前年度約3500点) 未整理資料の整理を進める 年度当初未整理史料 約5万点 	<ul style="list-style-type: none"> 行政文書、県報、行政資料 新規収集資料の選別・収集・整理 行政簿冊587冊、県報122件、行政資料371冊 行政文書の公開非公開判定の実施 2,573冊 未整理現代史料等の整理 寄贈資料の登録・配架 酒井三重氏資料ほか 8件 移管資料の登録・配架 県立長野図書館ほか 3件 長野県労働組合評議会資料(昭和27～63年)916冊 長野県労働組合評議会資料(昭和32～平成2年メーデーほか)写真・ネガ 56件 地区労働組合評議会・単産労働組合 66冊 保存 長野県史写真フィルム(35mm)の洗浄・複製製作 継続事業 小県郡 486本 古文書 新規史料の収集 18件 8,374点(概数分含む) 未整理史料の整理 38件 20,764点 公開 35件 9,427点 	
		○ 考古資料の保存処理	<ul style="list-style-type: none"> 収納木製品の保存処理(3,000ポイント)(PEG槽へ投入、濃度アップ、各1回の作業を1ポイント扱いとして換算) =ポイントアップの要因: ボランティア動員増加、臨時職員補充 写真資料の保存(フィルムのデジタルデータ化)は35ミリポジフィルム年間7,000枚を実施 金属製品に関しては依頼に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 収納木製品の保存処理 3,100ポイント 赤外線観察=3件(8点) X線透過撮影観察=3件(211点) 依頼100%対応 写真資料の保存(デジタル化) 6,600枚 高画質のデジタル化の使用を見直し1枚あたりを低単価化 金属製品の依頼対応 100%対応 満足度100% 	
		○ 館設定研究テーマの調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> 市町村教育委員会と黒曜石研究会を実施 テーマ「信州黒曜石文化の研究」 回数 2回 内容 黒曜石原産地とそれに関わる遺跡の実態説明、成果展示 R1年以降、関連市町村での展示 市町村教育委員会と城郭・城下町研究会を年1回実施、県外研究者と意見交換 市町村教委・博物館等と土偶研究会を実施 テーマ「長野県の土偶」 回数 研究会2回と、全国「土偶研究会」と共催のシンポジウム 内容 1990年代に行った県内土偶のデータベースの再構築と、県内出土土偶の特色の抽出 	<ul style="list-style-type: none"> 「信州黒曜石文化研究会」を1回開催 10月 歴史館で開催 研究成果をH30の秋季企画展で展示 研究会に関連し第2回考古学セミナーにて東京都立大小野名譽教授が黒曜石原産地の保存と活用についての講演 「長野県近世城郭・城下町研究会」を1回開催 2月 松本城の見学と調査研究成果の発表 満足度80% 県教委文化財・生涯学習課による「黒曜石原産地保有市町村等連絡協議会」において、共同研究の提案と意見交換を実施 2回の研究会実施、全市町村対象の土偶調査票送付 全県のデータの集積は次年度継続 達成度80% 	
史資料の保護・活用に取り組み、保護思想を啓発します	○ 史資料の保存等に関する市町村への協力・支援	<ul style="list-style-type: none"> 依頼事項の90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 依頼・実施件数 22件(実施率100%) 		
	○ 史資料保存活用講習会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 開催3回 参加者60人 	<ul style="list-style-type: none"> 3回開催 参加者数 115人 満足度 100% 		
	○ 考古資料保存処理講習会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 開催1回 参加者20人 	<ul style="list-style-type: none"> 考古資料保存処理講習会:11月30日開催=参加者数 18人 =赤外線、X線、実態顕微鏡を応用した資料観察の手順と撮影方法(前年度の市町村担当者の要望を受けて) 		
	○ (新)防災・災害の対応	<ul style="list-style-type: none"> 事例研究や他県の体制・対応を参考に研究を推進 			
長野県の歴史を明らかにし、その成果を普及します	○ 常設展の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携 信州大学工学部、繊維学部 観覧者数 前年の105%目標(昨年は1か月半の休館あり25周年記念企画に合わせ増加が見込まれる) 満足度 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 観覧者 36,649人 (H29度比 -1,071人 97.2%) 満足度91.5%(H27 86.4%) 		
	○ 企画展の開催	<ul style="list-style-type: none"> 観覧者数 前年比105%増 満足度 80% 25周年記念企画 ・収蔵品展「長野県立歴史館の名品」(7月6日～8月18日) ・秋季企画展「戦国小笠原三代」 ・特別企画展「土偶展」 国宝土偶(10月26日～11月10日) 中部高地の土偶(11月23日～2月2日) 巡回展 ・「長野県の遺跡」 歴史館会場(4月1日～6月23日) 塩尻会場(7月27日～9月16日) 飯田会場(10月5日～11月10日) 	<ul style="list-style-type: none"> 観覧者数 26,848人(H29度25,780人 前年度比104%) 満足度 91.92%(H29 93.4%) ※企画展等別 ・巡回展「長野県の遺跡発掘2018」(4/1～6/3) 56日 8,485人 満足度 89.76% ・巡回展「長野県の遺跡発掘2018」伊那会場(7/13～8/2) 24日 492人 ・巡回展「長野県の遺跡発掘2018」塩尻会場(8/11～9/17) 34日 1,406人 ・巡回展「長野県の遺跡発掘2018」佐久会場(9/29～11/25) 50日 1,455人 ・夏季企画展「君は河童をみたか」(6/16～7/29) 38日 5,594人 満足度 90.91% ・秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石」(9/15～11/25) 62日 8,848人 満足度 90.15% ・冬季展「自然を見つめた田淵行男」(12/15～2/17) 50日 3,063人 満足度 94.55% ・巡回展「長野県の考古学」(3/16～3/31) 13日 858人 満足度 93.33% 		
	○ ミニ展示の開催	<ul style="list-style-type: none"> 開館25周年の歩み 他は、各企画展の一部として展示する(旧映像情報室) 	<ul style="list-style-type: none"> 「県歌50年」26日 965人 「信州の野球史」32日 996人 		
	○ (新)親子歴史ふれあいコーナーの設置準備	<ul style="list-style-type: none"> 館内で基本構想について再考、取りまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 福井県や山梨県等の博物館視察等を通して基本構想検討、展示業者の協力を得てレイアウト案を策定 		
	県民の生涯学習を支援します	○ 古文書講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> 開催25回 受講者900人 満足度 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 25回開催 受講者 延べ925人 満足度 92.1% 	
		○ ティーンズ古文書講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> 開催4回 受講者20人 満足度 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 4回開催 受講者 延べ28人 満足度 100% 	
○ 考古学講座の開催、探訪会の実施		<ul style="list-style-type: none"> 講座 開催4回 受講者400人 探訪会 実施1回 参加者40人 	<ul style="list-style-type: none"> 考古学講座 4回開催:テーマ『文化の画期について』(受講者数438人) 探訪会 1回(参加者数42人) 満足度 100% 		
○ 信州学講座の開催		<ul style="list-style-type: none"> 開催9回 受講者900人 (講堂改修工事完了により、一昨年の目標に戻す) 満足度 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 県立歴史館の信州学講座 「やさしい信濃の歴史講座」と「歴史館ふるさと講座」統合 9回開催 受講者868人 満足度 88.97% 冬季に講堂が改修工事で研修室を会場としたため受講者減少 		
○ ブックレットの刊行		<ul style="list-style-type: none"> 「中部高地の土偶」に刊行に向けた取組 	<ul style="list-style-type: none"> 信州学2巻・3巻の刊行に集中し、ブックレットは刊行せず 		
○ 信州学テキストの刊行		<ul style="list-style-type: none"> 第3巻刊行 	<ul style="list-style-type: none"> 信州学2巻を刊行 		

基本目標	基本目標に対する取組	令和元年度		平成30年度 主な事業及び達成値	備考	
		主な事業	目標値			
未来を映す歴史知識の泉としての役割を果たします	県民の生涯学習を支援します	○ 関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 「信州学出前講座」として、上田市・箕輪町・諏訪市・安曇野市との連携した講座を開催 4回、250人 考古学セミナー(県考古学会共催) 2回 近世史セミナー(信濃史学会、信州近世史セミナー共催) 1回 県博物館協議会HP運用。一般アクセス数年間40,000件 加盟館のイベントを発信する 	<ul style="list-style-type: none"> 信州学出前講座 5回開講 受講者計298人 (上田市25人、箕輪町41人、諏訪市122人、松本市57人) 第1回考古学セミナー:6月3日開催=80人 第2回考古学セミナー:11月25日開催=32人(第1研修室) 満足度80% 近世史セミナー 12月開催(受講者数131人) 県博物館協議会HPは本年度運用1年目で、加盟館の情報発信一般アクセス数 年間43,345件 		
		○ 出前巡回講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> 「やさしい信濃の歴史講座」の上田市、松本市、箕輪町その他、1ヶ所で開催(新規)で開催(計年4回) 「長野県の遺跡発掘2017」の伊那市、安曇野市での巡回開催に合わせ講演会等実施 上記以外の出前講座 要請の80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 4回開催 受講者250人 (上田1回42人、箕輪町1回69人、松本2回139人) 満足度91% 松本会場(安曇野市)2回開催(伊那では開催せず) 9/10(259人) 10/1(69人)(アンケートなし) H30年度 76回 延べ参加者6,123名 		
	学校教育を支援します	○ 効果的な展示利用方法の開発	常設展示用学習シート(小学校)を活用したプログラムの提供	ワークシート(歴史館まなび隊・学習シート) 利用校136校(利用率53.8%) 平成29年度145校(利用率53.6%)		
		○ 学校見学時の展示解説の実施	希望校の100%実施	希望校受入率 100% 実施学校数248校(但し、雨天時のみの学校は含まない)		
		○ 学校見学時のバックヤード探検の実施	希望校の90%以上の受入	希望校受入率 96.8% 実施学校数212校		
		○ 博物館実習・職場体験学習の受入	希望者の90%以上の受入	希望者受入率 100% 博物館実習3人、県庁インターンシップ3人 中・高生職場体験 9校21人(延べ54人)		
		○ 教員研修への協力、実施	希望者の100%の受入	希望者受入率 100% 教材研究研修(県総合教育センター) 12人 免許更新講習(信州大学) 3回3日間 計140人		
		○ 出前授業(講座)の実施	要請の100%の実施	76回 6123人		
	歴史情報を提供します	○ おでかけ歴史館事業の実施	伊那・木曾地域に加え、諏訪地域も対象に追加 10回開催	7校17学級、公民館2館 415人に実施		
		○ 史資料の閲覧	整理が終了した古文書等の公開を進め、公開情報をホームページ、ブログ等で掲載、周知	整理が終了した古文書等の公開 整理を終えた古文書群は直ちに公開手続を取り、ホームページ上でその都度データ更新を実施 (公開件数 9,427点、公開度数100%) 古文書公開ブログ7回更新、新資料の情報を積極的に公開		
		○ ホームページによる情報提供	アクセス数(年間 72,000件) ホームページのリニューアル実施	アクセス数 76,369件(平成29年度83,979件) アクセス数急増、一方、外部からHPを改ざんによる休止期間あり		
	楽しむ場・憩いの場・交流の場としての役割を果たします	参加して楽しめる場、憩える場とします	○ 体験イベントの開催	館内及び出前イベント(埋文センターチャレンジ教室など)を実施(各回100人以上の体験を目標)	<ul style="list-style-type: none"> 4日開催(3/20・21・23・24) 参加者数 計659人 館内 3回実施 <ul style="list-style-type: none"> 5月5日「歴史館でこどもの日」(175人) 8月5日「歴史館で夏休み」(77人) 11月3日「森將軍塚まつり」(572人) 計824人 館外 1回実施 <ul style="list-style-type: none"> 7月26日「夏休み県庁見学イベント」(50人) 8月20日「伊那文化会館こどもまつり」(380人)・県庁、埋文センター、伊那文化会館で実施(500人以上が体験) 	
			○ 親子映画会の開催	参加者 年間 600人	講堂改修工事のため、夏のイベント中に1日のみ実施(55人)	
		県民が参画した館の運営を進めます	○ 古文書愛好会の育成と活動支援	参加者数 500人(延べ) 古文書解説文1冊を刊行	<ul style="list-style-type: none"> 参加者数 延べ 721人 ※活動内容 <ul style="list-style-type: none"> 館蔵文書を読む会 7回開催 参加者数 38人(延べ209人) 古文書探訪会 参加者数 32人 古文書演習 <ul style="list-style-type: none"> 夏季 5回 参加者数 35人(延べ 124人) 冬季 18回 参加者数 32人(延べ 356人) 	
			○ 運営サポートボランティアの育成	展示解説・体験ボランティアの募集・養成を行い、イベント運営への活用を推進	<ul style="list-style-type: none"> 募集 歴史館HP、チラシ(千曲市回覧、当館設置) 新規登録者4人 ボランティア研修会 9回開催 受講者延べ49名 	
			○ 利用者アンケートの活用	常設展解説等館運営ボランティアの積極的な活用	<ul style="list-style-type: none"> 解説34回(学校見学5回、団体見学29回) 体験(イベント)6回 常設展の日曜ボランティア解説(毎日日実施) 解説者延数210人 利用者数1,063人 	
				来館者アンケートの意見の反映	アンケート回答率 1.49%(前年度 2.23%)	